



ミッション

統計学の立場からデータサイエンスの理論の深化と新たな応用分野の開拓に寄与

主な研究課題

- 多変量統計解析法の理論と応用
- 統計的因果推論の理論とその各種応用分野への適用
- 統計学に関連した各種のパラドックスを通じての統計理論の理解促進
- 新医薬品開発の臨床試験ならびに医薬品の安全性に関わる各種統計手法の効果的適用
- データサイエンスの普及と啓発活動

社会的活動

- 学会活動

統計関連学会連合(統計関連6学会連合):理事長(2期), 理事. 日本統計学会:会長, 理事長(2期), 理事, 代議員.
応用統計学会:会長, 副会長, 理事, 評議員. 日本計量生物学会:名誉会員, 理事, 評議員. 日本行動計量学会:理事.
日本計算機統計学会:フェロー, 評議員.

- 官公庁

厚生労働省. 文部科学省, 消費者庁, 総務省, 内閣府, 医薬品医療機器総合機構(PMDA):専門委員

受賞

- 日本統計学会:日本統計学会賞, 統計学研究奨励小川基金会賞.
- 日本行動計量学会:林知己夫賞(功績賞), 優秀賞. 日本計量生物学会:功労賞

研究紹介

- パラドックスで学ぶ統計学(現在執筆中. 近い将来出版予定)
- シンプソンのパラドックス

ある疾患に対する新薬の有効性評価の臨床試験. 男女別の結果では, 男女とも新薬は対照薬に比べ回復率が10%劣っているが, 試験参加者全体の結果では, 新薬の回復率は対照薬の回復率よりも10%高い.

→ 男女別のデータで解釈すべきか? 全体でのデータで解釈すべきか?

- どう判断したらよいか. 統計的因果推論的な考察が必要

男性	回復	不変	計	回復率
新薬	18	12	30	60%
対照薬	7	3	10	70%
計	25	15	40	

女性	回復	不変	計	回復率
新薬	2	8	10	20%
対照薬	9	21	30	30%
計	11	29	40	

全体	回復	不変	計	回復率
新薬	20	20	40	50%
対照薬	16	24	40	40%
計	36	44	80	

最近の主な著書

- 岩崎 学(監訳)佐藤宏征・長井万恵・加葉田雄太郎(共訳)(2023)ヘルスデータサイエンス(Etzioni, R. et al. (2020) *Statistics for Health Data Science*, Springer の邦訳). 共立出版.
- 阿部貴行・岩崎 学(共訳)(2021)ローゼンバウム統計的因果推論入門(Rosenbaum, P. R. (2017) *Experiment and Observation*. Springer の邦訳). 共立出版.
- 岩崎 学(訳)(2019)ビッグデータ超入門(Holms, D. E. (2017) *Big Data*, Oxford University Press の邦訳)東京化学同人.
- 岩崎 学(2019)事例で学ぶ!新しいデータサイエンスの教科書. 翔泳社.
- 岩崎 学・姫野哲人(2017)スタンダード 統計学基礎. 培風館.
- 岩崎 学(2015)統計的因果推論. 朝倉書店.

連絡先

Email: m.iwasaki.vs@jutendo.ac.jp